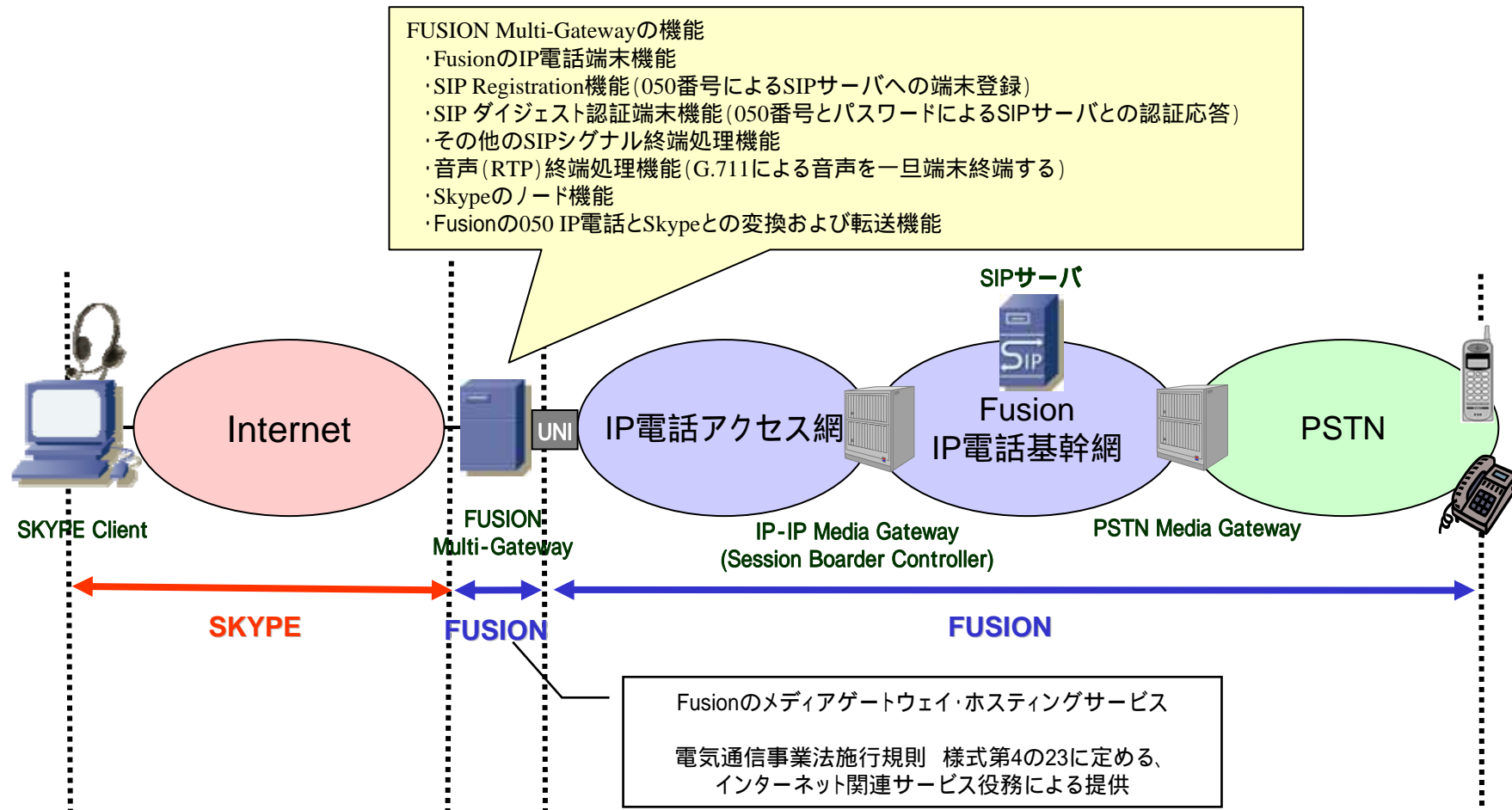


Skypeへの転送に関する実現方法等について (報告)

2005年12月20日
フュージョン・コミュニケーションズ

Skypeとの接続概要図

今回、弊社が設置するMulti-Gatewayは、FUSION IP電話端末機能 (SIP Registration機能、SIPダイジェスト認証端末機能、SIPシグナリング終端処理、RTP終端処理機能等)を有したものであり、UNIでの接続となります。



ご質問に関する弊社実現方法



今回、弊社が提供するサービスにおいて、「応答タイミング」及び「転送案内トーキ」については以下方法により実現致します。

応答タイミングについて

着信時のGatewayの動作は、Skypeの応答信号を受けてから 200OKを発信側に返します。本方式は、UNI接続されている自営PBX等で内線呼び出す際の呼処理と同じ動作と考えております。

転送案内トーキについて

転送時のトーキ案内については、今回発信ユーザ保護の観点及びサービス提供者としての説明責任の観点から、自主的に弊社網内設備より、着信応答前にトーキ案内致します。着信応答前としたのは、本トーキを流す目的からも非課金呼として対応するべきと考えたことによるものです。

上記実現のための具体的シーケンス等については、当社ノウハウに密接に関連したものであり、また、Skype社とのNDAにも抵触するおそれがあることから、本資料内での詳細な記述は差し控えさせていただきます。

なお、既に事業者間で接続上、必要な技術的条件等のご質問については、通常の相互接続ルートにて対応させていただいております。